令和 8 年度第 4 回　「しが web アンケートプラス調査」

全国（滋賀県を除く 46 都道府県）の結果について

1　調査の目的

全国（滋賀県を除く 46 都道府県）にお住まいの方を対象として、サイクリングを目的とした旅行経験や「ビワイチ」の認知度、関心、参加に当たって期待するサービスや課題等を把握し、今後のビワイチの認知度向上、利用促進および受入環境の充実に向けた取組を検討するための基礎資料とする。

2　調査の概要

（１）調査対象　全国（滋賀県を除く 46 都道府県）在住の満 18 歳以上の男女
（２）標本数　1000 人
（３）調査方法　インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答する web 調査
（４）調査期間　令和 8 年 10 月 14 日（水）～令和 8 年 10 月 20 日（火）
（５）調査会社　株式会社ＩＴグローバルブレイン

3　調査項目

ビワイチ（びわ湖一周サイクリング）について

4　主な調査結果　※詳細は別添集計表（エクセル表）を参照ください。

Q1：サイクリングを目的とした旅行や旅行先での自転車利用経験について尋ねたところ、「両方ない」が 76.5%と最も多く、次いで「旅行先の現地移動で自転車を選択した経験がある」が 12.5%となった。

Q2：「ビワイチ」の認知度について尋ねたところ、「（見聞きしたことが）ない」が 83.3%、「（見聞きしたことが）ある」が 16.7%であった。

Q3：旅行先でサイクリングをする場合の希望所要時間について尋ねたところ、「１時間未満」が 56.8%と最も多く、次いで「２時間程度」が 24.2%、「３時間程度」が 10.9%となった。

Q4：「ビワイチ」を体験してみたいか尋ねたところ、「してみたくない」が 67.7%となり、「してみたい」が 32.3%となった。

Q5：「ビワイチ」を体験してみたいと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「琵琶湖一周の達成感を感じたいから」が 25.9%と最も多く、次いで「滋賀ならではの景観・絶景を楽しむため」が 22.4%、「滋賀の観光地を巡る手段として」が 14.0%、「滋賀の歴史・文化を楽しむため」が 13.0%となった。

Q6：「ビワイチ」を体験してみたくないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「サイクリングに興味がない、楽しいと思わないから」が 23.9%と最も多く、次いで「自身の体力やトラブルに対する不安があるから」が 14.8%、「天候に左右されるから」、「特になし」がともに 11.5%となった。

Q7：「ビワイチの日」「ビワイチ週間」の認知度について尋ねたところ、「知らなかった」が 93.3%となり、「知っていた」が 6.7%となった。

Q8：「ビワイチ」を体験したくなるサービスや環境について尋ねたところ、「特になし」が 17.0%と最も多く、次いで「ビワイチで楽しめるグルメ」が 12.8%、「ビワイチを体験することで出会える景色や絶景」が 12.4%、「安全なサイクリングロード」が 11.9%となった。

Q9：「ビワイチ」を体験する際の課題について尋ねたところ、「特になし」が 18.2%と最も多く、次いで「長距離走行する体力や時間がない」が 17.0%、「現地（滋賀県またはレンタサイクル拠点）までのアクセスの不便さ」が 15.0%、「ビワイチに関する情報がまとまっていない、分かりにくい」が 11.2%となった。

Q10：自由記述では、安全なサイクリングロードの整備、年齢や体力に応じた参加方法、休憩スポットやトイレの充実、レンタサイクルや荷物預かりサービス、費用・所要時間等の情報提供に関する意見が見られた。

５　結果考察・調査結果活用の方向性

滋賀県外の「ビワイチ」認知度は 16.7%にとどまる一方、ビワイチを「体験してみたい」との回答は 32.3%であり、新規層の開拓余地は大きい。

体験希望者からは達成感や景観・グルメへの期待が高い反面、希望所要時間は「２時間程度以下」が約８割を占め、長距離走行や体力面の不安、拠点までのアクセスや情報の分かりにくさが課題となっていることが判明した。

今後は認知度向上を図るプロモーションに加え、初心者や短時間でも気軽に楽しめるモデルコースの提案、安全な走行環境やレンタサイクル・荷物預かり等の受入体制の充実、さらにはビワイチに関する情報を一元化するなどわかりやすい発信を進め、多様な層の誘客につなげていく。